

天声人語

若い人たちに向け、仕事への希望を語った言葉だろう。「じぶんを大切にすることが同時に、ひとを大切にすることになる世の中。そういう世の中を来させる仕事がきみたちの行くてにまつてている」▼雑誌「世界」の編集長を長く務めた吉野源三郎がかつて書いた。しかし、いまは若い人が職場で自分を大切にすることすら簡単ではないかもしない。若者を使いつぶす「ブラック企業」という言葉が生まれ、定着してしまった▼この会社もその一つなのか。厚生労働省はきのう、広告大手の電通に強制捜査に入った。違法な長時間労働がはびこっている疑いが強まつたためだ。ブラック企業問題を受けて発足した「過重労働撲滅特別対策班」というものものしい名のチームが捜査に当たる▼発端は新入社員だった高橋まつりさんが24歳で自ら命を絶つたことだつた。上限を超える長時間労働をしていたことが明らかになった。「君の残業時間の20時間は会社にとつて無駄」。そう上司に言われたと高橋さんがSNSに残していた▼長時間労働の実態はぜひひ解明してほしいが、捜査で彼女の自死の理由がすべて分かるわけではない。上司との関係、仕事の進め方ややりがいはどうだつたのか。若い命が追い詰められる状況は、どこの職場でも許されることではない▼ある調査では回答者の4人に1人が、自分が働く会社が「ブラック企業」にあたると思つているという。企業社会に失望ばかりが広がるなら、ひとも経済も伸びることはない。

2016・11・8